

## 単語を書く(1)

いよいよ単語を書きます。

アラビア文字は基本、子音しか表わさないので、どういう母音がつくか、あるいはつかないかは、次の補助記号を使って示します。

母音 a	母音 i	母音 u	無母音☆	un *
				 または 

☆無母音(母音がつかない)を示す記号は小さな○。下から書き始めると、勢い余って u の記号になりやすいので注意。上から書き始めれば、多少出ても問題ありません。

\*アラビア語の単語(名詞・形容詞)を覚えるときは、語尾に un をつけて覚えましょう。後でよいことがあります(幸運を招く un)。

un の記号は、母音 u の記号を二つ並べてもよいし、1個書いてからジャンプさせてもよいです。

u	un	un
	 かわいい♡	 ↑ジャンプ

「サファリ・パーク」の「サファリ」はスワヒリ語に由来しますが、その起源はアラビア語のサファル(safar)。アラビア語では、狩猟・探検旅行に限らず、旅行全般を意味します。



それでは「旅行(safar+un=safarun)」を書いてみましょう。

「文字表」を用意してください。

<http://arabiya.d.dooo.jp/bunpo/b01.pdf>

- ①文字表から転写が s の文字を探します。これは12番目の文字ですね。この独立形を書き、母音 a を示す記号をつけましょう(s+a)。次に fを探します。20番目の文字です。独立形を書いて、母音 a を示す記号をつけます(f+a)。最後に r。これは10番目の文字。独立形を書いて、un の記号をつけます(r+un)。
- ②単語の語頭の s は語頭形、語中の f は語中形、語尾の r は語尾形にします。
- ③それをつなげて書きます。

語	語尾	語中	語頭	独立形	
سَفَرٌ	ر	ف	س	ر    ف    س	旅行 safarun
				run    fa    sa	

### سَفَرٌ の書き方

一回目は一文字ずつ書きます。

この形を絵として認識し、次は一気に書きます。

- ①土台の部分を右から左へ書きます(黒色の部分)。
- ②点を付け足します(緑色の部分)。
- ③記号をつけます(赤色の部分)。発音を確認しながら、右から左へ記号をつけることをお勧めします。

同様にして、他の単語も書いてみましょう。

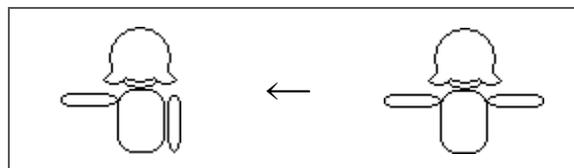
語	語尾	語中	語頭	独立形	
					ラクダ jamalun
					犬 kalbun
					デーツ* tamrun
					少女、娘 bintun

\*デーツとは、乾燥させたナツメヤシの実。干し柿みたいで、甘くて美味しい。おたふくソースの原料に使われているそうです。

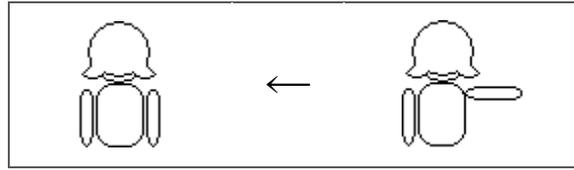
文字の中には、次の文字と手をつながない、意地悪な文字がありましたね。文字表のうちの青い文字、ا (1)、د (8)、ذ (9)、ر (10)、ز (11)、و (27) の6つです。

こうした意地悪な文字の次にくる文字はどうなるでしょうか。

語中の場合、本来なら両手を横に上げた語中形ですが、前の文字が手をつないでくれないので、右手を下ろさざるを得なくなります。これは語頭形。つまり、語中であっても、直前に意地悪な文字があると語頭形が使われるということです。



語尾の場合、本来なら右手を横に上げた語尾形ですが、前の文字が手をつないでくれないので、右手を下ろします。両手を下げた形は、独立形ですね。



どの形を使うのか迷ったら、実際に手を上げ下げしてみるとよいです。

以下の単語には意地悪な文字が登場します。書いてみましょう。

語	語尾	語中	語頭	独立形	
					男 rajulun
					少年、息子 waladun
					花 zahrūn
					金(gold) <u>dh</u> ahabun
					レッスン darsun